

絆 図書館ボランティアだより

第3号

きずな

2009年3月 阪南市立図書館サポーター・ブックファン広報部会発行

図書館フレンズの募集は毎年3月です。

図書館フレンズは無償のボランティアです。図書館のいろいろな作業をお手伝いいただいております。今では図書館にとってなくてはならない存在になっている図書館フレンズの皆さんより、実際に作業をして感じたことなどを教えていただきました。

配架

朝9時から1時間、これまで知らなかった作家や本に会える知的空間を楽しみながら配架しています。(H.T)

館内装飾

子どもたちが絵本を読むきっかけになったらと、製作数は34枚になりました。主婦4人の活動で1つの作品が仕上がることに喜びにひたっています。(A.T)

書庫入れ作業

書庫の配架の仕事を始め、司書さんの仕事分野の広さ多さを知り驚きました。仲間との出会いと共に少しでも力になれる事に幸せを感じています。(T.K)

リサイクル関連

まだまだ利用価値のある本と、再利用を求めている人たちの出会いの場…もっともっと販わってほしいと思います。(A.T)

修理・清拭・装備

破れ修理・落書き消し・汚れた本を雑巾で拭く・CDの袋やケースの修理などいろいろな仕事があります。みんなで世間話をしたりして楽しくまた熱中して作業しています。時間に余裕のある方、一緒にいかがですか？ (T.T)

広報関連

カット絵などの担当です。親しまれる紙面作りを心掛けて一層多くの方に届けられますよう願っています。

(この「絆」も広報が編集しています)
※ワープロ出来る方大募集！ (M.K)

《えほん入門講座・よみきかせ入門講座のその後》

おかげさまで定員を超える申し込みをいただき、盛況のうちに終了、参加動機はさまざまでした。「わが子にどんな絵本を見せたらいいのか」や「孫に見せるために」というあたたかい気持ちから、「PTAとして幼稚園で読み聞かせるための絵本の選び方」「声色を使い分けないといけないかなどノウハウを学びたい」など専門的な踏み込みまで。「これを機に絵本について学び続けた」との声も聞かれ、このたび「絵本の散歩道」が誕生しました。館内を歩きながらその場の絵本を紹介・借りてもらうという肩の凝らない企画ですので、どなたさまもぜひおこしください。

家族で楽しむ図書館

ほぼ毎週図書館に出かけ本を数冊借ります。家族4人が揃って数冊ずつ借りてくるので、我が家には常に図書館の本が30冊前後ある事になります。自分の選んだ本だけでなく、夫の借りた本、子どもたちの借りた本にも手を伸ばすものですから一年間何冊の図書館の本を手にするかわかりません。殊に児童書は私が子どもの頃には目にする事がなかったような多種多様な本が揃えられてあり、子どものために、自分のためにせっせと借りています。司書の皆さんは読みたい本のリクエストにも丁寧に対応してくださるので、子どももあれこれ相談しているようです。家の本棚も可能な限り大きなものを備え付けましたが、読みたい本を全部購入しては到底置き場所も費用も追いつかずで、読んでみてこれと思ったものだけ購入します。最近購入した本はベルヌの『神秘の島』『海底二万海里』（福音館書店）。挿絵もすばらしいのです。我が家にとって図書館は正にはならない存在です。

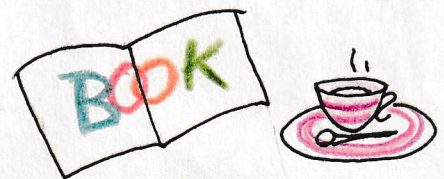
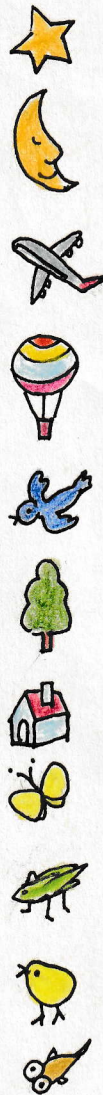
稲田郁代さん



米寿から始まった私の図書館体験

紀の川市より転居して来て二年余りになりました。娘夫婦や地域の皆様のおかげで、安心して楽しい日々を過ごさせて頂いております。米寿も過ぎ足腰の弱い私にとりまして、何より嬉しい事は、娘が借りて来てくれる図書館の本を読ませていただける事です。非常に充実した図書館に驚きました。次から次へと貪るように読みました。満州から引き上げられ苦勞なされた藤原てい、宮尾登美子の自伝小説等、年配の女流作家の一生懸命に生きている様子を読めば読む程自分を励ましてくれます。『病気が治る人の免疫の法則』（福田稔/著）も日々の生活の参考にさせて頂いております。夫の関係でおいで下さる看護師さんやヘルパーさんとも、つい本が話題になります。大活字本にも出会い、ほんとうに嬉しゅうございました。デイサービスで皆様にも話しております。俳句の本（黒田杏子/著）を読んでから、この年で俳句を始める気になり、通信講座やNHKの俳句放送で勉強しております。おかげさまで視野も広くなりました。『俳句脳』（茂木健一郎/著）の本も予約しました。これからもできるだけ図書館を利用させて頂きたいと思っております。

藤本須矢加さん



《紹介コーナー》 図書館フレンズ 伊藤郁夫さん

私が図書館サポーター(今の図書館フレンズ)を始めたのは、幾つかの偶然が重なった結果です。たまたま、借りようとした本が「ページが外れかけています、しばらくお待ちください」と言われ椅子に掛けて待っている時、カウンターに貼ってある「図書館サポーター募集」のポスターが目にとまりました。平成19年3月でアルバイトを辞めることになり何かすることはないと考えていた時期だったので、これも何かの縁かと思い、即説明会参加の申し込みをしました。

どうせやるなら色々な事をやってみようと言うことで、現在は、配架・修理・書庫入れをやっていますが、配架は時間に追われる作業で淡々と。書庫入れは書架が密集していますが、普段入れない場所なので古いけれどよい本に出会えるかも。修理はある程度慣れてくると、自分で考えながらやれるのでお勧め。これからも息長く続けられたらと思っています。